

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		158	特別史跡百済寺跡再整備事業		部・課	観光にぎわい部 文化財課
総合計画との関係	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等		19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
	取り組みの方向		19-① 歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。			
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係		4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる			
総合戦略との関係	基本目標					
	施策目標					
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度市政運営方針		○	国の特別史跡である百済寺跡については、憩いと親しみあふれ、古代寺院の景観を体感できる史跡公園とするため、西面回廊の整備を行う。		
	2017(H29)年度市政運営方針					
	2018(H30)年度市政運営方針		○	国の特別史跡である百済寺跡については、憩いと親しみにあふれ、古代寺院の景観を体感できる史跡公園とするため、東面回廊の基壇を石積みにより復元する。		
事業概要 (目的・内容等)			市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後40年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を進める。 概算総事業費：7.2億円			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・平成27年3月に報告書刊行 ・平成26年度に、実施設計の完了 ・平成26年度から平成28年度にかけて、支障木の伐採 ・平成26年度より、外郭築地塀復元基本設計着手 ・平成27年度より、整備工事に着手			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・堂塔院西側の整備 ・文化財収蔵庫の解体			
	実績（評価）	・文化財収蔵庫の解体 ・堂塔院基盤整備 ・西面回廊に礎石レプリカを設置 ・外郭築地塀復元基本設計作業中 ・支障木の伐採			
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	・堂塔院東側の整備 ・東門周辺アプローチ施設を含む寺域東辺の整備 ・外郭築地塀の実施設計			
	実績（評価）	・東塔・中門基壇の切石壇正積による復元 ・西塔・金堂基壇の法面整形と芝張り			
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・東面外郭築地塀及び各種案内板等の設置 ・南面外郭築地塀の立体復元工事			
	実績（評価）	・回廊東半部基壇の復元 ・金堂基壇の土系舗装 ・南面回廊西側における礎石レプリカの設置			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	・東北院等の盛土造成等基盤整備 ・堂塔院全体の土系舗装 ・南門礎石レプリカの設置 ・張芝
	実績（評価）	・堂塔院内前庭部と西面回廊の土系舗装 ・南門における法面の張芝と礎石レプリカの設置 ・東北院の一部の盛土造成と給排水設備の配置 ・公園灯の更新
備考		

課題・今後の対応	築地塀復元基本設計において、築地基底部幅や小屋組の意匠などの根拠を示すよう文化庁より求められ、検討に時間を要したこと、本事業地内における支障樹木を取り除く作業量が膨大となったことで、事業の進行に遅れが生じ、計画していた期間よりも工事が延びることが明確となったことから、年度ごとの再整備スケジュールを見直し、再整備事業の完了予定時期を当初の平成30年度から令和5年度に延期した。今後、事業完了に向けて遅滞なく再整備を進めるとともに、百済寺跡の市民への啓発や活用の観点から、関連する由緒のある自治体との交流事業の可能性(友好交流資料館提携や物産紹介など)について、検討を進める。 併せて、各種イベントの開催や再現イメージの効果的な伝達方策等について検討する。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
事業の進捗状況			実施設計の完了	造成工事着手、発掘調査の実施	堂塔院の基盤整備	堂塔院の基壇整備	堂塔院の基盤整備	堂塔院の基盤整備	整備の完了		
指標の説明			堂塔院内の前庭部と回廊の西半部の基壇上を土系舗装したほか、南門法面の張芝と基壇上の礎石レプリカの設置、東北院の一部の盛土造成と給排水設備等の設置工事を行い、基壇の立体表示を進めた。また、景観に配慮した照明灯に一新した。なお、再整備事業の完了予定時期は令和5年度とする。							当初目標値	達成年度
再整備事業の進捗状況											

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
旧田中家鋳物民俗資料館等と学校教育との連携行事参加者数	○		4,478	4,656	3,726	4,472	4,994	3,571	5,150	人	
指標の説明			旧田中家鋳物民俗資料館及び枚方宿鍵屋資料館の市内小学校の団体入館者数及び資料館職員が市内小学校に出向いて行う出前講座の受講者数。 令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市内小学校の見学、出前講座の申込みが減少した。							当初目標値	達成年度
旧田中家鋳物民俗資料館及び枚方宿鍵屋資料館の市内小学校の団体入館者数及び資料館職員が市内小学校に出向いて行う出前講座の受講者数											

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	80,201	23,611	0	0	0	0	56,590
2017(H29)年度	77,276	22,723	0	0	0	0	54,553
2018(H30)年度	85,733	32,800	0	0	0	0	52,933
2019(R1)年度	102,099	31,806	0	0	0	0	70,293

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	，用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		159	楠葉台場跡保存活用事業	部・課	観光にぎわい部 文化財課
総合計画との関係	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		
	施策目標等		19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち		
	取り組みの方向		19-① 歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係		4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針	○	日本で唯一残る河川台場である楠葉台場跡については、歴史遺産を活用した公園として、市民が利用できるよう取り組みを進める。		
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	市内の貴重な歴史文化遺産を後世に残し、市民の郷土愛を醸成するため、日本で唯一残る河川台場である「楠葉台場跡」について、史跡の適切な保存と活用に取り組む。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成27年度に、楠葉中之芝土地区画整理事業の造成工事により、史跡の仮整備を完了し、枚方市楠葉中之芝土地区画整理組合と協議を行い、史跡指定地の公有化を実施した。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・史跡指定地の供用開始、適正管理
	実績（評価）	・史跡内の芝の養生・植栽の生育・大雨による冠水対策を実施 ・9月1日より史跡の全面開放 ・9月17日に史跡の現地説明会を実施(参加者:376人) ・除草・灌水・清掃など史跡の適正管理を実施
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進 ・『楠葉の「お台場」－激動の幕末と枚方－』をテーマとして文化財連続講座(4回)を開催
	実績（評価）	・除草・灌水・清掃など史跡の適正管理を実施 ・文化財連続講座『楠葉の「お台場」－激動の幕末と枚方－』を開催(参加者:延べ501人)
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・除草・灌水・清掃など史跡の適正管理を実施 ・台風の影響による倒木竹の伐採及び間伐を行う

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・除草・灌水・清掃など史跡の適正管理を実施 ・大堀（調整池）の底部に沈積する土砂及び汚泥除去のため浚渫を実施
備考		

課題・今後の対応	文化財の価値の理解と魅力の向上を図るため、楠葉台場跡の適正な保存と管理を行うとともに、効果的な活用事業に取り組む。 併せて、各種イベントの開催や再現イメージの効果的な伝達方策等について検討を進める。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
事業の進捗状況			—	仮整備の実施、 史跡指定地の公有化	史跡の開放	—	—	—	史跡の開放		
指標の説明			史跡内の芝の養生と植栽の生育に一定期間かかり、また大雨による冠水対策や大堀に発生した藻の除去作業が想定外に必要なため開放までに時間を要したが、幕末から近代への激動期を体感できる歴史学習の場として、平成28年9月1日に史跡を全面開放することができた。							当初目標値	達成年度
史跡指定地の適正な保存と管理の状況											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
史跡の維持管理の進捗状況			-	-	7/9	10/10	11/11	6/6	予定実施回数	回数	
指標の説明			市民の利用に供せるよう除草を行い、適正な管理を行った。							当初目標値	達成年度
史跡内の除草実施回数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	12,511	0	0	0	0	0	12,511
2017(H29)年度	11,392	0	0	0	0	0	11,392
2018(H30)年度	13,680	0	0	0	0	0	13,680
2019(R1)年度	15,760	0	0	0	0	0	15,760

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）

## (様式2) 実行計画管理シート

事業名	160	文化財保存活用促進事業	部・課	観光にぎわい部 文化財課
総合計画との関係	基本目標等	地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		
	施策目標等	19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち		
	取り組みの方向	19-① 歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。		
	(関連施策目標等)			
	(関連施策目標等)			
	4つの重点的に進める施策との関係			
総合戦略との関係	基本目標			
	施策目標			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞	
	所信表明			
	2016(H28)年度 市政運営方針			
	2017(H29)年度 市政運営方針			
	2018(H30)年度 市政運営方針			

事業概要 (目的・内容等)	(公財)枚方市文化財研究調査会が一定の役割を終えたことから、その発展的解消という視点も踏まえて、この間の文化財調査の成果を広く市民に周知するとともに、文化財を守る意識を涵養する趣旨から文化財保存活用基金を設置するものです。この基金の創設により市民の共有財産である文化財のさらなる保存と活用を図っていきます。
------------------	---

### 取り組み状況

これまでの取り組み状況	平成30年度3月補正新規事業	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	
	実績(評価)	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	
	実績(評価)	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・枚方市基金条例の一部改正
	実績(評価)	・3月定例会月議会にて、条例の一部改正案及び関連補正予算が可決

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	・基金の具体的な活用方針を決定し、実施に向け必要な事務を推進する。
	実績（評価）	・基金継続のためのふるさと寄附金を令和元年7月から開始。寄附額:1,050,000円
備考		

課題・今後の対応	・文化財の保存・活用、普及啓発の促進のため、現地説明会や市内高校の歴史系クラブ等との活動連携、特別史跡百済寺跡・史跡楠葉台場跡に亚克力板を使用した遺構立体表示など、新たなメニューやアイデアを取り入れた具体的な運用方針を検討する。 ・運用方針に基づく適正な基金活用と、基金を継続するために、市民等からの寄附の促進を図る。	
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）

### 関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
ふるさと納税による寄附額		文化財の保存と活用を目的とした寄附金の額	-	-	-	-	-	1,050,000	100,000	円
指標の説明									当初目標値	達成年度
ふるさと納税により文化財保存活用基金への寄附										
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
基金による保存活用事業の実施		文化財保存活用基金を活用した事業の件数	-	-	-	-	-	-	1	件
指標の説明									当初目標値	達成年度
基金の有効活用を行う										
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明									当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明									当初目標値	達成年度

### 事業費（決算ベース）

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	30,000	0	0	0	0	30,000	0
2019(R1)年度	1,053	0	0	0	0	1,053	0

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費		千円	, 用地費		千円 )
--------------	------	-------	--	----	-------	--	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		161	観光まちづくり推進事業	部・課	観光にぎわい部 観光交流課
総合計画との関係	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		
	施策目標等		19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち		
	取り組みの方向		19-② 本市が有する歴史文化遺産や淀川、東部地域の自然などの貴重な観光資源を効果的に発信し、地域内外の交流機会の創出を図ります。		
	(関連施策目標等)		21 地域産業が活発に展開されるまち		
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係		4. 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		6 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針		○人々が集い活力がみなぎるまちとなるよう、本市の貴重な歴史や文化などの地域資源を生かしながら、市民が愛着を持ち、多くの人が訪れたいと思えるまちづくりを進めます。 賑わいの創出や地域の活性化を図るため、淀川の自然や枚方宿といった歴史・文化資源とあわせて、淀川舟運を観光資源として、地域や事業者、国などと連携・協力しながら取り組みを促進します。 (中略) さらなる賑わいの創出を図るため、新たに担当部署を設置し庁内体制を強化するとともに、民間活力も活用しながら観光施策を戦略的に推進します。		
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	◎観光振興に向けた基礎データの収集・分析。観光宿泊客調査及び訪問客実態調査は、時系列にデータ把握することで、経年比較を可能にし、多様な観光ニーズをタイムリーに把握する観点から、毎年行う必要がある。				
	本市の魅力向上に向け、様々な情報発信を行う 1. 魅力スポットの情報発信 2. 観光情報発信による効果測定 3. 宿泊客を商店街へ誘導 4. クラウドファンディングによる魅力創出				

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成30年度当初新規事業			
2016(H28)年度の取り組み	実績				
	計画				
2017(H29)年度の取り組み	実績				
	計画				
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	① 観光振興に向けた基礎データの収集・分析(観光宿泊客調査・訪問客実態調査・観光消費調査・インバウンド対応調査) ※調査に基づき下記の事業を実施 ②-1 観光冊子やマップによる魅力スポットの情報発信 ②-2 地域情報サイト上で枚方市の魅力を発信及びページビュー分析等の実施 ②-3 枚方市内の宿泊施設から商店街への誘導策の実施 ②-4 クラウドファンディングによる魅力創出			
	実績(評価)	① 観光振興に向けた基礎データの収集・分析(観光宿泊客調査・訪問客実態調査・観光消費調査・インバウンド対応調査) 観光宿泊客調査や訪問客実態調査、市政モニターによる動向調査、関西留学生アンケートを実施し、観光における訪客の実態、消費動向などの傾向把握を行った。 ②-1 観光冊子やマップによる魅力スポットの情報発信 観光フリーペーパー「ひらいろ」を創刊し年3回発行するとともに、「河内西国三十三所観世音めぐりinひらかた ガイドブック」の制作、「ひらかた観光ガイドブック」の増刷などで本市魅力の情報発信に努めた。 ②-2 地域情報サイト上で枚方市の魅力を発信及びページビュー分析等の実施 地域情報サイト「枚方つーしん」に本市飲食店や山田池公園などの記事を掲載し、記事内容による読者傾向の把握に努めた。 ②-3 枚方市内の宿泊施設から商店街への誘導策の実施 宿泊施設及び商店街の関係者と協議を行い、より外国人旅行者をターゲットとした食の体験型の誘導策について検討を行った。 ②-4 クラウドファンディングによる魅力創出 平成29年度に支援したクラウドファンディング事業により商品化した「枚方くらわんか酒」のお披露目イベントを実施するとともに、前年度の2倍量を醸造するための支援も行い、さらなる魅力創出に努めた。			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	①観光振興に向けた基礎データの収集・分析（観光宿泊客調査・訪問客実態調査）  ※調査に基づき下記の事業を実施 ②-1～4→推進
	実績（評価）	①、②-2について、新たなデータ収集方法や分析及び発信について検討を行った。 ②-1 観光冊子やマップによる魅力スポットの情報発信 観光フリーペーパー「ひらいろ」を制作する実行委員会を組織し、発行を年4回に拡充したほか、FacebookやInstagramも活用して積極的に発信を行った。また、本市HPのトップ画面に「観光」のアイコンを設置し、「観光・レジャースポット」や「観光マップ」などをまとめたページにつなげることで、本市の観光情報にアクセスしやすくした。本市の地域資源である「河内西国三十三所観世音めぐり」については、ガイドブックを活用してウォーキングイベントを実施し、更なる周知を図った。（イベント2回の内1回は新型コロナウイルスの影響で中止） ②-3 枚方市内の宿泊施設から商店街への誘導策の実施 宿泊施設の担当者と協議を行い、実施に伴う課題について共有した。 ②-4 クラウドファンディングによる魅力創出 「枚方くらわんか酒」に続く特産品の開発及び魅力創造を進めるため、支援方法の検討を行った。
備考		

課題・今後の対応	市制モニターなど、できるだけコストをかけない観光関連のデータ収集が必要。 また、「ひらいろ」や「河内西国三十三所観世音めぐり」などの既存資源について、市外における認知度の向上のため効果的な発信方法を検討する。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

#### 関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
定期利用者数を除いた市内各駅の乗降客数の市域人口に対する割合						24.6	24.7	24.2	25.0	%
指標の説明								当初目標値	達成年度	
枚方市駅、枚方公園駅、樟葉駅及び長尾駅の乗降客数－定期利用者数(1日当たり)／市域人口										
【市内各駅の乗降客数】:97,885人(平成30年11月) 【市域人口】:403,989人(平成30年次)										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

#### 事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	7,421	0	0	0	0	0	7,421
2019(R1)年度	3,054	0	0	0	0	0	3,054

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費		千円	、 用地費		千円 )
--------------	------	-------	--	----	-------	--	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		162	観光資源発信事業	部・課	観光にぎわい部 観光交流課
総合計画との関係	基本目標等	地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
	取り組みの方向	19-② 本市が有する歴史文化遺産や淀川、東部地域の自然などの貴重な観光資源を効果的に発信し、地域内外の交流機会の創出を図ります。			
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
と総合戦略の関係	基本目標	1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標	6 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度 市政運営方針				
	2017(H29)年度 市政運営方針				
	2018(H30)年度 市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	市が有する観光資源を効果的に発信し、地域内外の交流を促進するため、菊花展・市民菊人形展等の「菊フェスティバル」の実施のほか、枚方まつりなどのイベントを開催している「枚方フェスティバル協議会」への支援、ひらかた観光ステーションなどを拠点とした市内の観光・物産・イベント等の案内を行う。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		「ひらかた菊フェスティバル」の開催、「枚方まつり」をはじめとする枚方フェスティバル協議会の各事業の支援、ひらかた観光ステーションを中心とした市内の観光・物産・イベント等の情報発信を行い、観光資源を市内外への発信・地域内外の交流促進に取り組んだ。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	①「菊フェスティバル(10月～11月)」の開催 ②「枚方まつり(8月)」など枚方フェスティバル開催への支援 ③市内の観光・物産・イベント等の案内及び友好都市の物産の紹介 ④枚方・交野天の川ツーリズムの実施
	実績(評価)	ひらかた菊花展、市民菊人形展、枚方宿街道菊花祭等を含めた「ひらかた菊フェスティバル」、「枚方まつり」をはじめとする枚方フェスティバル協議会の各事業の支援、枚方・交野両市で取り組んだ「枚方・交野天の川ツーリズム」を通じ、市が有する観光資源を市内外に発信し、地域内外の交流促進に取り組んだ。また、ひらかた観光ステーションを中心として、市内の観光・物産・イベント等の情報発信を行った。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	①②③→推進
	実績(評価)	ひらかた菊花展、市民菊人形展、枚方宿街道菊花祭等を含めた「ひらかた菊フェスティバル」、「枚方まつり」をはじめとする枚方フェスティバル協議会の各事業の支援、枚方・交野両市で取り組んだ「枚方・交野天の川ツーリズム」を通じ、市の観光資源を市内外に発信し、交流促進に取り組んだ。また、ひらかた観光ステーションを中心として、市内の観光・物産・イベント等の情報発信を行った。さらに、本年度は市制施行70周年記念事業として、「ひらかた菊フェスティバル」開催期間中に市立枚方宿鍵屋資料館にて「ひらかた大菊人形パネル展」を開催し、ひらかた大菊人形の歴史を記載した年表や当時の写真を展示した。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	①②③→推進
	実績(評価)	ひらかた菊花展、市民菊人形展、枚方宿街道菊花祭等を含めた「ひらかた菊フェスティバル」、「枚方まつり」をはじめとする枚方フェスティバル協議会の各事業の支援、枚方・交野両市で取り組んだ「枚方・交野天の川ツーリズム」を通じ、市が有する観光資源を市内外に発信した。また、ひらかた観光ステーションにおいて、枚方の物産を期間限定販売するなど、市内の観光・物産等の情報発信を行った。なお、地域資源である「七夕」に関するイベントや「七夕物語」の映像を上映するなど、「七夕」を広くPRする事業を実施した。

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	①②③→推進
	実績（評価）	ひらかた菊花展、市民菊人形展、枚方宿街道菊花祭等を含めた「ひらかた菊フェスティバル」、「枚方まつり」をはじめとする枚方フェスティバル協議会の各事業の支援、枚方・交野両市で取り組んだ「枚方・交野天の川ツーリズム」を通じ、市が有する観光資源を市内外に発信した。また、地域資源である「七夕」を広く発信するため、七夕関連のイベントして、「七夕ジャンボ笹飾り」、「七夕婚活」を開催した。 ひらかた観光ステーションでは、枚方の物産を期間限定販売するなど、市内の観光・物産等の情報発信を行った。
備考		

課題・今後の対応	ひらかた市民菊人形の会の会の人形菊の育成地について、耕作放棄地の有無を含め今後長期に使用できる候補地の検討を継続する。 また、枚方市や交野市、両市の観光協会、北大阪商工会議所、大学等で構成する「天の川ツーリズム推進協議会」と連携し、枚方と交野の共通資源である「七夕」の効果的な発信に向けた取り組みを推進する。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
観光ステーション利用者数	○		28,270	27,900	26,300	27,000	25,640	23,720	35,000	人	
指標の説明			出入口や店内のモニターを活用して季節に応じた観光情報の発信に取り組んだ。また、友好都市フェアなどを行いSNS等で積極的に周知するなど利用者数の増加を図った。新型コロナウイルスの影響により結果的に利用者数は減少したが、今後も情報発信方法を随時見直しながら、新たな利用者獲得につなげていく。							当初目標値	達成年度
市内の観光情報の発信や、枚方のオリジナルグッズを扱うひらかた観光ステーションにおける購入者数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	22,670	8,752	0	0	0	0	13,918
2017(H29)年度	14,884	0	0	0	0	0	14,884
2018(H30)年度	14,004	0	0	0	0	0	14,004
2019(R1)年度	14,387	0	0	0	0	0	14,387

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	, 用地費	0 千円 )
--------------	------	-------	------	-------	--------

## (様式2) 実行計画管理シート

事業名		163	市内大学連携・交流事業	部・課	総合政策部 観光にぎわい 部	企画政策課 文化生涯学習課
総合計画との関係	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等		19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
	取り組みの方向		19-③ 大学の知的資源をまちづくりに生かすため、「学園都市ひらかた推進協議会」などによる大学施設を利用した学習・交流機会の充実や産学公の連携による取り組みを進めます。			
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係					
総合戦略との関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標		6 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度 市政運営方針					
	2017(H29)年度 市政運営方針					
	2018(H30)年度 市政運営方針					

事業概要 (目的・内容等)	大学の知的資源や学生の活力をまちづくりに生かすため、市内5大学と枚方市で構成する「学園都市ひらかた推進協議会」の取り組みとして、市内の小学生を対象にした大学での学習体験や、特色ある各大学の専門知識などを生かした生涯学習講座を市民に提供する。また、市内大学と地域との交流を促進し、教育などさまざまな分野で学生と連携した取り組みを推進する。
------------------	--

### 取り組み状況

これまでの取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生が各大学の設備体験や授業体験等を行う「子ども大学探検隊」の実施</li> <li>・市内大学の専門的な知識・情報を学習することができる講座である「ひらかた市民大学」の実施</li> <li>・市内大学の学生などのまちづくりへの参画の促進</li> </ul>
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生が各大学の設備体験や授業体験等を行う「子ども大学探検隊」の実施</li> <li>・市内大学の専門的な知識・情報を学習することができる講座である「ひらかた市民大学」の実施</li> <li>・市内大学の学生などのまちづくりへの参画の促進</li> </ul>
	実績（評価）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども大学探検隊」は、3大学で実施し、合計104人の参加者があった。</li> <li>・「ひらかた市民大学」は、5大学で実施し、延べ279人の参加者があった。</li> <li>・枚方市内の魅力的なスポットの写真を募集した「ひらかた魅力発信コンテスト」や、学生目線で枚方市の魅力を高めることができるような取り組みや政策提言を募集した「ひらかたの未来SOUZOU事業」などを実施し、優秀作品の表彰を行った。</li> </ul>
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども大学探検隊」は、3大学で実施し、合計92人の参加者があった。</li> <li>・「ひらかた市民大学」は、5大学で実施し、延べ163人の参加者があった。</li> <li>・学生による枚方市内の魅力的なスポットの写真を募集した「ひらかた魅力発信コンテスト」では、入選作品の表彰や市内5大学を紹介する冊子を作成し、各大学の特色を市内外に発信した。</li> </ul>
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひらかた市民大学」を5大学で実施。各大学の特色を活かし、社会情勢やニーズを踏まえ、より興味深いテーマを選択することで、延べ176人の参加者があった。</li> <li>・「子ども大学探検隊」を5大学で実施。講義だけでなく実習や体験型のブースを設ける等、創意工夫し延べ306人の参加者があった。</li> <li>・「中高生を対象とした大学体験事業」を5大学で実施。オープンキャンパスと合わせて開催する等の工夫を凝らし、延べ165人の参加者があった。</li> <li>・「枚方産学公連携フォーラム2018」を実施。情報通信研究機構(NICT)所属の講師が、最先端のVR(仮想現実)の技術を活用した地域振興について講演し、101人の参加者があった。</li> <li>・「平成30年度インターンシップ受入」を6部署7回実施。11人の受入を行い、枚方市政や行政の仕事に対する理解を深めた。</li> <li>・市関連事業等における市内大学連携実績は、各担当課が積極的に周知することで26事業・延べ2,364人の参加があった。</li> </ul>

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひらかた市民大学」を5大学で実施。各大学の特色を活かし、社会情勢やニーズを踏まえ、より興味深いテーマを選択することで、延べ209人の参加者があった。</li> <li>・「子ども大学探検隊」を5大学で実施。講義だけでなく実習や体験型のブースを設ける等、創意工夫し延べ222人の参加者があった。</li> <li>・「中高生を対象とした大学体験事業」を5大学で実施。オープンキャンパスと合わせて開催する等の工夫を凝らし、延べ213人の参加者があった。</li> <li>・「枚方産学公連携フォーラム2019」を実施。「～IoT・AIを活用したビジネスの大改革～持続可能なビジネスと実現するIoT・AIは「理論」から「実装」へ」をテーマに、AIや産学連携を取り上げた基調講演や、市内の大学や事業者、北大阪商工会議所や情報通信研究機構（NICT）から招いたパネリストによるICTの活用をテーマにしたパネルディスカッションを行い、96人の参加者があった。</li> <li>・「令和元年度インターンシップ受入」を5部署5回実施。5人の受入を行い、枚方市政や行政の仕事に対する理解を深めた。</li> <li>・市関連事業等における市内大学連携実績は、各担当課が積極的に周知することで31事業・延べ2,349人の参加があった。</li> </ul>
備考		

課題・今後の対応	<p>「ひらかた市民大学」、「子ども大学探検隊」、「中高生を対象とした大学事業」について、市内の全大学で開催することができた。これまでの実績等を踏まえ、より多くの市民や学生に参加していただけるよう、各大学の特色を活かし、社会情勢やニーズを踏まえて今後の実施内容等について大学側と検討、調整していく必要がある。</p> <p>また、コロナ禍における各種事業の開催手法について、WEB上でのイベントや「三密」を避けた運営方法などを各大学と関連事業を行う関係課との協議し、開催に向けての検討、調整していく必要がある。</p>		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
市と大学との連携事業に参加した市民の人数		○		-	334	383	255	482	431	410	人	
指標の説明				前年度の指標と比べると減少しているが、目標値はクリアしている。今後により多くの市民に参加いただけるよう、各大学の特色を活かし、社会情勢やニーズを踏まえるとともに、コロナ禍における事業実施のあり方について大学側と検討、調整し進める。							当初目標値	達成年度
ひらかた市民大学・子ども大学探検隊に参加した市民の人数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
市と大学との連携事業に参加した学生数		○		-	1,775	1,659	1,738	1,906	1,904	4,700	人	
指標の説明				新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止等の影響もあり、前年度の指標と比べると横ばいの状況である。今後はより多くの学生の参加が得られるよう、市内大学との連携をさらに進めるとともに、コロナ禍における事業実施のあり方についても検討していく。 ※目標値設定時、学生数を把握しておらず、参加者数の実績推移を用いてその増加率から目標値を設定する。							当初目標値	達成年度
イベントの開催など市と市内大学との連携事業に参加した学生数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	180	0	0	0	0	0	180
2017(H29)年度	180	0	0	0	0	0	180
2018(H30)年度	180	0	0	0	0	0	180
2019(R1)年度	180						180

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	，用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		164	産学公連携事業	部・課	観光にぎわい部 商工振興課
総合計画との関係	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		
	施策目標等		19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち		
	取り組みの方向		19-③ 大学の知的資源をまちづくりに生かすため、「学園都市ひらかた推進協議会」などによる大学施設を利用した学習・交流機会の充実や産学公の連携による取り組みを進めます。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
と総合戦略の関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		6 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	地域資源である大学や市内企業等と連携し、技術革新や新産業の創出を目指して、本市とひらかた地域産業クラスター研究会、北大阪商工会議所、学園都市ひらかた推進協議会等の共催により、産学公連携フォーラムを開催する。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成17年度から毎年テーマを定めて産学公連携フォーラムを開催。技術革新に関する基調講演や事例研究の発表を行うと同時に、各連携機関等によるパネル展示など行っている。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・産学公連携による「産学公連携フォーラム」の開催
	実績（評価）	平成28年11月9日に、「世界に通じる新産業創造都市をめざして！ 共に手をつなごう、世界へ、未来へ。」をテーマに、地域活性化支援センターにて開催し、140人が参加した。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	平成29年12月9日に、「ビジネス大変革時代を乗り越える！未来を切り拓く、地域に根ざしたイノベーションとは」をテーマに、地域活性化支援センターにて開催し、101人が参加した。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	平成30年12月8日に、「未来を創造する『ものづくり』への挑戦！」をテーマに、地域活性化支援センターにて開催し、101人が参加した。

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	令和元年11月30日に、「～IoT・AIを活用したビジネスの大改革～持続可能なビジネスを実現するIoT・AIは「理論」から「実装」へ」をテーマに、地域活性化支援センターにて「産学公連携フォーラム2019」を開催し96人が参加した。「IMAGINE THE FUTURE:一緒に描こう、AI、そして産学連携～未来のスーパードローン、オモテナシIoT、AIでタイムマシーンについて～」をテーマとした基調講演、「経済的発展と社会的課題の解決に向けた企業のICT活用について」をテーマとしたパネルディスカッション、「AI・データによる地域課題解決」をテーマとした大阪工業大学による研究発表が行われた。
備考		

課題・今後の対応	市内事業者と大学等の連携を図り、事業者の抱える課題の解決、新しいビジネスへの展開など事業者にとって有益な内容のフォーラムとするため、地域産業クラスター研究会など関係団体と協議し、企画内容を検討する。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
産学公連携フォーラムの参加者数				74	179	319	420	521	617	670	人	
指標の説明				アンケート結果などを参考に参加者数増加に向けて検討していく。							当初目標値	達成年度
産学公連携フォーラムの参加者数(累計)												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	0	0	0	0	0	0	0
2019(R1)年度	0	0	0	0	0	0	0

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）